

## 佐志小 人文字で150周年祝う

9月19日、創立150周年を迎えた佐志小学校で運動会が行われ、児童や家族、地域住民など約300人が参加しました。運動会の後には、創立記念事業で人文字を撮影。創立記念実行委員長の久保敬作さんは「子どもたちの思い出に残ればうれしいです」と話しました。



150年の歴史を祝って人文字をつくりドローンで撮影

## 水環境を学びモクズガニを放流

10月6日、柏原地区の夜星川でモクズガニの放流が行われました。川の生態系と資源の大切さを知ってほしいと川内川漁協が主催し、柏原小学校の1、2年生25人が参加。川の生き物や環境を学んだ後、バケツを傾けたり甲羅をつかんだりして、モクズガニ30kg約1,200匹を放流しました。2年の西紀之香さんは「少し怖かったけど上手にできました。放流できてうれしかったです」と話しました。



そっとバケツを傾けてモクズガニを放流しました

## 流水小 最後の運動会

9月23日、来年3月に閉校する流水小学校で運動会が行われました。流水ソーランや玉入れなどの種目に全力で臨みました。最後には、児童や家族、教職員、地域住民などが校章旗をバトンがわりにリレー。同校への感謝の気持ちや思い出などを発表しました。



## 中津川小 北南橋で俵踊り披露

9月29日、中津川小学校近くにある北南橋の上部工完了を祝い、同校の児童が俵踊りと子ども神輿を披露しました。橋には、児童が書いた「北南橋」や「北方川」などの4つのプレートが取り付けられました。6年の田島圭旺さんは「緊張しましたが、貴重な場で踊れて良かったです。記念になりました」と話しました。



北方川に架かる北南橋で地域伝統の踊り「俵踊り」を披露

## 小学校陸上記録会 各校の代表選手5、6年生がベストを尽くし力走

10月7日、宮之城運動公園で第17回町小学校陸上記録会が行われました。例年は町内の小学5、6年生が出場しますが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため各校の代表選手のみが出場。流水小学校6年の麥田有真さんの選手宣誓で始まり、選手たちが力強い走りを見せました。友達や先生、保護者からの応援も力に変え、今年は4つの大会記録を更新。各種目の1位と新記録は次のとおりです。(敬称略)



5年生男子		5年生女子	
▶100m走	中野流空(盈進) 15秒0	▶100m走	堀口理央(盈進) 15秒5
▶800m走	外川内志誠(柏原) 新2分38秒9 外川内新(盈進) 新2分39秒5	▶800m走	中間望央(佐志) 2分50秒9
▶400mリレー	中野流空・外川内新・太刀鉾一步 三浦真輝人(盈進) 1分03秒4	▶400mリレー	堀口理央・前野空絆・柿村心咲 桑波田紗綯(盈進) 1分04秒9
▶走り幅跳び	外川内志誠(柏原) 3m63cm	▶走り幅跳び	田端恋羽(流水) 3m37cm
▶走り高跳び	内田慈龍(山崎) 1m10cm	▶走り高跳び	満園美咲(求名) 1m05cm
6年生男子		6年生女子	
▶60mハードル走	久保健太郎(柏原) 10秒1	▶60mハードル走	小田姫咲(佐志) 11秒7
▶100m走	前村健斗(盈進) 新13秒6	▶100m走	上牧瀨彩巴(盈進) 15秒1
▶800m走	平田優莉(山崎) 2分44秒3	▶800m走	軸屋芽依(柏原) 3分02秒1
▶400mリレー	前村健斗・大園茉紗希・上野龍道 東郷辰大(盈進) 新57秒0	▶400mリレー	堂免侑加・東優月・上牧瀨彩巴 市来千花(盈進) 1分02分2
▶走り幅跳び	前村健斗(盈進) 3m98cm	▶走り幅跳び	上牧瀨彩巴(盈進) 3m58cm
▶走り高跳び	春水拓馬(佐志) 1m20cm	▶走り高跳び	清水美香(山崎) 1m10cm

力をあわせて臨むリレー 他の学校に負けるものか!

## 鶴田小 最後の運動会

9月26日、来年3月に閉校する鶴田小学校で運動会が行われました。伝統芸能の浅山棒踊りや全員参加の鶴田音頭、同校にまつわる借り物競走などで思い出を胸に刻みました。最後は「ツルダ」の人文字から飛ばした風船が秋空を彩りました。



## 植圃産業 消防団活動で地域貢献

10月1日、植圃産業株式会社に消防団協力事業所表示証を交付しました。同事業所には消防団員2人が勤務しており、地域の安心安全のために消防団活動に積極的に取り組んでいます。協力事業所を認定することで社会貢献を認め合い、地域と事業所が一体となって消防団活動を盛り立てていくことを目指しています。今回で町内の協力事業所数は30事業所となりました。



左から団員の中園了俊さん、栗山利子代表取締役、立和名浩部長

## 宮之城中生と県議が意見交換

9月24日、宮之城中学校で県議会議員との意見交換会がオンラインで行われました。同校の3年生6人、県議会議員8人が参加。子育て世代の貧困や災害対策、GIGAスクール構想について質疑応答がありました。子育て世代の貧困について質問した平蓮純さんは「議員さんと直接意見交換し貴重な経験ができました。教えていただいた子ども食堂について調べたいです」と話しました。



県議会議員に堂々と質問する生徒



整備した毛布やLEDスタンドライトなどの備品

## 宝くじ助成で救助工具などを整備

コミュニティ助成事業は、宝くじの助成金で整備されるもので、本町では区公民館の備品整備などに対し助成を受けています。今回、中央公民会自主防災組織が助成を受け、災害発生時の安全確保に必要な車両接続型電源や間仕切りなどを整備しました。自主防災組織会長の堀之内力三さんは「整備した備品を活用し、高齢者の方などが安全に避難できる体制を整えたいです」と話しました。



一筆一筆に願いが込められ鮮やかな色を取り戻しました

## 五穀豊穡を願ってお色直し

9月19日、永野地区の吉川集落にある田の神様のお色直しが行われました。吉川公民会の役員6人が参加し、5色の絵の具で化粧を施しました。最後は餅が入った藁づとを田の神様に下げ、五穀豊穡を祈願。中窪啓二会長は「田の神様のお色直しだけでもしたいと思い実施しました。地域の活性化につながりたいです」と話しました。



04.

# 多文化共生

中国語のあいさつ

ザオシャンハオ  
早上好

おはよう

有限会社南原農園

リャン ユイウイ

Liang Yuwei さん (35)

ゲン リホン

Geng Lihong さん (34)



**夫** 婦で南原農園に勤めるウイさんとホンさんは、日本に来て2年半。夫のウイさんは吉林省、妻のホンさんは遼寧省出身で、母国には3歳の娘さんがいます。「毎日娘に電話していて、どんどん言葉を話すようになりました」と笑顔を見せます。仕事内容は、主にブライダル用の草花の収穫や管理。アットホームな職場で、「社長と奥さんが優しく困ることはありません」と話します。「中国と大きく違うのは食べ物」と話す二人ですが、料理が趣味のホンさんは最近味噌汁を作るそうです。公民会活動にも参加し、地域に馴染んでいます。

## 薩摩郡医師会につるし雛を寄贈

10月6日、薩摩郡医師会病院で、町商工会女性部、ひっ翔べ！奥さつま探検隊、町生涯学習講座受講生が作ったつるし雛の贈呈式が行われました。つるし雛は「さるっこ」という飾りが下げられており「雛が去る」という思いが込められています。受け取った同医師会の堀之内都基会長は「可愛らしく心のこもった贈り物。応援が何よりも支えになります」と話しました。



コロナ禍で奮闘する医療従事者に感謝したいと贈りました



坂口綱紀さん(中央右)と茂樹会長(右)

## 昭和書体が直筆の掛け軸を寄贈

9月22日、株式会社昭和書体が本町に掛け軸を寄贈しました。同社は、85歳の書道家・坂口綱紀さんが毛筆で一文字ずつ書いた字をデジタル化して販売。毛筆の力強い書体は、人気アニメ「鬼滅の刃」にも使用されました。掛け軸には、直筆の般若心経が書かれています。同社の坂口茂樹会長は「生まれ育ったさつま町で、この仕事ができることへの感謝を込めて贈ります」と話しました。